

MV-22 オspreyの横田基地飛来及び低空飛行訓練の縮減について（要請）

平成26年8月28日夕刻、米海兵隊のMV-22 オsprey 2機が8月29日に横田基地へ飛来し、同月31日に同基地において総合防災訓練として飛行を行う可能性がある旨の情報を得ました。

あきる野市としては、これまで3度に渡り、MV-22 オspreyの横田基地への飛来と配備について、正確な情報の提供と十分な説明責任について要請を行ってまいりましたが、ここに再度、基地に隣接する自治体として、住民の当該機に対する安全性への懸念が払拭されないまま飛来することがないよう、再度要請いたします。

また、2012年度から当市の上空を飛行するC130輸送機等による市民からの騒音件数が急激に増加しており、この事態を憂慮しているところです。平成11年1月14日に公表された日米合同委員会における在日米軍による低空飛行訓練に関する資料では、安全性が最重要であることから、低空飛行訓練が日本の地元住民に与える影響を最小限にすることとし、人口密集地域や公共の安全に係る他の建築物（学校、病院等）に妥当な考慮を払うとされています。

このような状況をご理解いただき、米国政府に対して基地周辺の住民の安全確保と低空飛行による航空機騒音の縮減について申し入れしていただきたく、重ねて強くお願いいたします。

平成26年8月29日

外務大臣 岸田 文雄 様

あきる野市長 白 井

